

幼保連携型認定こども園さいび園 全体の計画

2021 年度

教育・保育理念	心身共に健康で人間性豊かな子どもの発達を助ける	教育・保育方針	子どもの最善の利益を考慮し、その生活を保障し保護者とともに健やかに育成するものとする
---------	-------------------------	---------	--

教育・保育目標	園児一人一人の自律をめざして	1. 自分でできることは自分でする	2. 環境に親しみ、友達やまわりの人や自然と触れあう中で、さまざまな事象に進んで興味を持つ	3. 活動を楽しみ中で、発見したり、考えたり、工夫したり、試したりしたことを表現する	4. 友達の感情や立場を考え合わせながら、仲良く行動する
---------	----------------	-------------------	---	--	------------------------------

重点的に取り組む教育・保育のカテゴリー

心身の健康	人権の尊重	食育の推進	構成論	小学校との接続	保護者支援と連携	地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ●自己を十分に発揮し、伸び伸びと行動する機会を大切に、充実感や満足感を得られるように努める。 ●自分の体の大切にし、健康な生活に必要な習慣や態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自他の違いに気づき、互いに認め合い、一人一人が大切な存在だと感じる心を育てる。 ●平和や命の大切さについて知ることのできる教育・保育を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食べることの楽しみを実感するなど、豊かな食の体験を積み重ね、食を営む力の基礎を育む。 ●食との関わりなどを実感し、食に対する感謝の気持ちを育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ピアジェの構成論の「3つの知識」に基づいた理論を理解し、子ども理解のための視点の一つとして学び、保育教諭の質を高め、遊びから学ぶ子どもの知的な発達の適切な援助を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●園児と児童の交流を通じて、小学校生活に安心感と期待感を感じられるよう学びの接続を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てに関する情報交換の場や交流の機会を設けながら、子育てのパートナーシップを築き、子ども理解につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文化や伝統などに触れて自分たちの住む地域に親しみを感じ、豊かな生活体験を得られるような関わりを大切にする。

ねらい及び内容

	年齢	0歳児						1歳児						2歳児						3歳児						4歳児						5歳児						認定こども園教育・保育要領に定めるねらい	育みたい資質・能力
		健康		人間関係		環境		言葉		表現		健康		人間関係		環境		言葉		表現		健康		人間関係		環境		言葉		表現		認定こども園教育・保育要領に定めるねらい	育ってほしい姿						
養護	生命の保持	健康や安全に配慮し、一人一人の生活リズムを大切にしつつ、生理的欲求を十分に満たす。		生理的欲求を満たし、生活リズムが形成されるよう援助する。		安全で快適な生活環境の中で、身の回りの事を自分でしようとする気持ちを育てる。		健康で安全な生活に必要な習慣を身につけられるよう、自らできることを支援する。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康で安全な生活に関心をもち、自ら進んで行動できるようになる。		健康やかに伸び伸びと育つ ●健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を 作り出す力の基盤を培う。	・知識・技能の基礎 ・思考力・判断力・表現力等の基礎						
	情緒の安定	保育教諭との応答的なふれあいやかかわりの中で、安心してすごせる様に愛着関係を育てていく。		子どもの思いに共感し、触れ合い、語りかけることにより、安心して自分の気持ちを表すことができるようにする。		様々な自己主張を受けとめ、一人一人の気持ちに共感し、自我の育ちを援助する。		子どもの気持ちや考えを受けとめ、自我の形成と共に主体的な行動や探索意欲が高められるようにする。		自己肯定感を育み、他者を受容する気持ちを育てる。		心身の調和と安定により、自信を持って行動できるようにする。		身近な人と気持ちが通じ合う ●受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基盤を培う。		・学びに向かう力、人間性等																							
教育	健康	・人や物に興味を示し、探索活動が活発になる ・保育教諭に身のまわりを清潔にしてもらうことを心地よく感じる		・歩行が完成し、体を動かすことが楽しいと感じる。 ・身の回りのことを保育教諭と一緒にしようとする気持ちが芽生える。		・基本的な動作ができるようになり、全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ・保育教諭の見守りの中、身の回りのことを自分からしようとする。		・十分に体を動かし、いろいろな玩具や用具を使った遊びを楽しむ。 ・生活の流れが分かり、自分でできることは自分で行うようになる。		・全身を使いながら、様々な遊具や活動などに挑戦して遊ぶ。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度に関心をもち、身につけようとする。		・運動遊びに意欲をもち、目標をもって取り組む。 ・自分の体に関心をもち、健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。		(1) 明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。 (2) 自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 (3) 健康、安全な生活に必要な習慣に気づき、自分でできようとする気持ちが育つ。		・健康な心と体 ・自立心																							
	人間関係	・保育教諭との応答的な関わりの中で、愛着関係が芽生え、要求をする。 ・周囲の人に興味や関心を示し、関わろうとする。		・自分がしたいことや欲しいことを伝える。 ・保育教諭や友達の行動に興味を示し、自分もしようとする。		・生活や遊びの中で順番・交代などがあることを知る。 ・保育教諭や友達とかがかわって遊ぶ楽しさを感じる。		・保育教諭の仲立ちのもと、友達と思いを伝え合って遊ぼうとする。 ・友達とのかかわりを徐々に深めながら、簡単なルールを守って遊ぼうとする。		・友達とイメージや目的を共有し、工夫したり、協力したりしながら遊ぶ。 ・思い通りにいかない不安や葛藤を経験する中で、自分の思いを伝えようとし、相手の思いに気づく。		・自分の思いを伝えたり、相手の思いに気づいたりしながら、協力して物事をやり遂げる大切さや充実感を味わう。 ・地域の人や近隣の友達など自分の生活に関係の深い人たちに親しみを持つ。		(1) 幼保連携型認定こども園での生活を楽しく、身近な人と関わる心地よさを感じる。 (2) 周囲の園児等への興味・関心が高まり、関わりをもとうとする。 (3) 幼保連携型認定こども園の生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気づく。		・協調性 ・道徳性・規範意識の芽生え																							
	環境	・身近なものに興味や関心を示し、見たり、触れたりする。		・身近な自然に興味や関心をもち、探索をして遊ぶ。 ・好きなおもちゃや遊びを見つけ、落ち着いた環境の中で遊びを楽しむ。		・身近な自然や事象に興味や関心を広げ、探索、模倣をして遊ぶ。 ・物の特性(水・砂・泥など)に興味を示し、触れたり、遊んだり作ったりすることを楽しむ。		・生活の中で様々な自然や事象に触れ、興味や関心をもち、親しみを持って自分から関わろうとする。 ・身の回りの物の色、量、形などに興味をもち、必要性を感じて、分けたり、集めたりする。		・様々な物事や自然に触れ、積極的にかかわる中で生活や遊びに取り入れようとする。 ・体験を通して身の回りの物の色、数、量、形などに興味や関心をもち、必要性を感じて、数えたり、比べたりする。		・様々な物事や自然に主体的にかかわり、他園したり、発見したりしながら工夫して遊ぶ。 ・生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間などに関心をもち、必要を感じて取り入れようとする。		(1) 身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。 (2) 様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 (3) 見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。		・社会生活との関わり ・思考力の芽生え																							
	言葉	・保育教諭の語りかけに泣き声や喃語、片言により声を出して答えようとする。 ・身振りや指さしなどで、思いを表わそうとする。		・保育教諭との応答による心地よさや嬉しさを感じ、自分の思いを身振りや片言で伝えようとする。 ・絵本や歌遊びを楽しみながら、いろいろな言葉に触れる。		・自分の思いや経験を話そうとし、遊びの中で簡単な言葉でのやり取りをしたりする。 ・絵本や言葉遊びを通して、繰り返しの言葉や模倣を楽しむ。		・経験したことや感じたことを自分なりの言葉で保育教諭や友達に伝えようとする。 ・絵本や物語に興味をもって聞く。		・自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりして会話を楽しむ。 ・絵本や物語、なぞなぞなどの言葉遊びを楽しみ、イメージを広げる。		・共通の目的に向かって、友達と話し合い、自分の思いを伝えたり、相手の話す言葉を聞こうとしたりする意欲や態度を身につける。 ・遊びや生活の中で文字や記号に親しむ。		(1) 言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。 (2) 人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。 (3) 絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。		・自然との関わり/生命の尊重 ・数量・図形・文字等への関心・感覚																							
	表現	・生活の中で出会う様々なものを心で受け止め、感じたことを全身で表す。		・生活の中で様々なものから刺激を受け、心ゆくまで関わることを楽しむ。 ・様々な体験を通じて、感じたことを自分なりに表現しようとする。		・様々な事象や出来事を通してイメージを広げたり、深めたりしながら心の中に蓄える。 ・興味のあることや経験したことを再現したり、真似たりする楽しさを味わう。		・自分でイメージを広げたり、見立てを楽しんだりして遊ぶ。 ・見たり、感じたり、考えたりしたことを身振りや動作で表現する。		・友達と一緒に遊びのイメージを共有しながら、様々な表現を楽しむ。 ・感じたこと、考えたこと、経験したことをいろいろな方法で表現する。		・友達と心を通わせ、一緒に表現する過程を楽しむとともに、感動する体験などを通じ、豊かな感性を育み、それらを表現する意欲を高める。 ・いろいろな素材に触れ、感じたことを、考えたことを工夫して表現する楽しさを味わう。		(1) 身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。 (2) 感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。 (3) 生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。		・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現																							

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
食育計画 (目標)	食材に触れ、皮むきを体験することに興味を持つ	身近な食材を使って調理されるものに興味を持つ	様々な種類の食べ物や料理を味わう	食べ物が食卓に上がるまでの一連の流れを体験を通して知る	野菜の色、形、香り、感触を体験する	調理を体験する喜びを味わう	五感を養う	野菜の名前や調理法に興味を持つ 自分たちで収穫した収穫物を使って調理する楽しさを味わう	体験する喜びを味わう	行事食の由来を知り、味わう	行事食の由来を知り、味わう	調味を体験する喜びを味わう
食育内容	よもぎクレープ	野菜の苗を植える 苺のへたとり	金時草の葉摘み	栽培野菜でクッキング	きゅうりいろいろ とうもろこしの皮むき	野菜の苗を植える	きのこほぐし	収穫野菜でクッキング 野菜の収穫	クリスマスケーキをデザインする			
行事食		こいのぼりランチ		七夕ランチ		月見団子			おせち料理	七草粥	恵方巻	ちらしずし
保健目標	園生活のリズムを身につける	生活のリズムを整える	歯を大切に作る	水遊びを楽しみ、健康増進を図る	暑さに負けない身体づくり	病気や怪我に気をつける	戸外遊びを積極的にする	寒さに負けない体力づくり	冬の感染症の予防に努める	冬の感染症の予防に努める	寒さに負けず元気に遊ぶ	戸外で全身運動をし、体力づくりを心がける
保健内容	身体計測(0～5歳児) うがい手洗の励行	身体計測(0～2歳児) 内科・歯科健診 運動能力測定	身体計測(0～5歳児) 虫歯予防デー	身体計測(0～2歳児) 水遊び お泊り会(5歳児)	身体計測(0～5歳児)	身体計測(0～2歳児) 眼科検診	身体計測(0～5歳児) 運動会 目の愛護デー	身体計測(0～2歳児) 内科・歯科健診	身体計測(0～5歳児) うがい手洗の励行	身体計測(0～2歳児) うがい手洗の励行	身体計測(0～5歳児) 咳エチケット指導	身体計測(0～2歳児) 耳の日
避難訓練計画	・合図を開き、保育教諭の周りに集める ・訓練の目的を知らせ避難させる	・合図を開き、保育教諭の周りに集める ・訓練の目的を知らせ避難させる	・水害の恐ろしさを知らせ安全な場所に避難させる	・地震、津波災害の意味を知らせる ・地震等発生時の避難方法を知らせる	・午睡中の避難のさせ方を覚える ・保育教諭の指示に従い安全な場所に避難する	・消防署員により火遊びの恐ろしさを知らせ安全な場所に避難させる	・台風の恐ろしさを知らせ安全な場所に避難させる	・火災発見者は大声で火災発生を知らせ消防署に通報する(肉声通報) ・指示に従い安全な場所に避難する	・指示に従い安全な場所に避難させる ・地震後は靴を履き、頭を防御して安全な場所に避難させる	・不審者が園に侵入したときの避難の仕方を覚え、避難させる	・火災発見者は大声で火災発生を知らせ消防署に通報する(肉声通報) ・指示に従い安全な場所に避難する	・保育教諭の指示に従い安全な場所に避難させる ・点呼を取り第二避難場所に避難させる
行事計画	入園式・進級式 交通安全指導教室 遠足	端午の節句 運動能力測定 中央小運動会見学 内科・歯科健診	参観週間 遠足	氷室の日 七夕まつり 遠足(プラネタリウム) お泊り会 夏まつり		眼科検診 個人懇談 遠足	運動会 運動能力測定 遠足 バス遠足	七五三お宮参り 遠足 内科・歯科健診	発表会 参観週間 クリスマス会	こども新年会 個人懇談	節分 こどもお別れ会 年長さんを迎える会	ひなまつり お別れ遠足 卒園式
行事のねらい	・入園式、進級式	新入園時を歓迎し、新しい生活への期待感を高める 進級したことを誇りに思い、新しい生活のスタートを友達と一緒に喜ぶ					・夏祭り	家族や地域の方、未就園児や小学生も一緒に交流を図る				
	・健診	自分の体に関心を持ち、健康の大切さを理解していく中で、命を大切にしようと思う心を育てる					・お泊り会	計画を立てて、必要なものを準備したり、実行したり、身の回りのことを自分でしたりすることで、達成感を味わう				
	・(親子)バス遠足	バスの中や公共の場所でのマナーを守ろうとする心を育てる 自然の中で開放感を味わい一緒に体を動かしたり、昼食をとったりして親子の絆を強める					・交通安全指導教室	交通ルール指導を受け、必要性に気づき、守ろうとする				
	・端午の節句	日本の行事の伝承をはかり、意味や関連する風習、遊び、食事を知る 端午の節句の由来を知り、園児の健やかな成長を願う親の心を知らせる					・防火講話	火災予防運動に参加することで、防火の意識を持つようになる				
	・プラネタリウム見学	公共の交通機関や施設を利用し、公共のマナーを知る/夜空の星の不思議な様子を体験する					・新年会	新年を迎える時の伝統を知り、異年齢の友達とお正月遊びを楽しむ。				
	・氷室の話	金沢の行事の伝承をはかり、意味や関連する風習、遊び、食事を知る					・七五三詣	日本の伝承をはかり、その意味や参拝の仕方を体験する				
	・七夕まつり	星に興味を持ち、関連する七夕の話聞く 親子で楽しく体を動かし、スキンシップをはかる					・発表会	日頃の教育・保育の表現活動の成果を発表することで、達成感を味わう				
	・運動会	日頃の遊びの中で、得意なことを披露する機会であり、やり遂げた後の達成感を味わうとともに、自分に自信を持つ 友達と協力しながら、最後まで頑張ることの素晴らしさを知る					・クリスマス会	サンタクロースの由来を知る				
	・お別れ遠足	クラスの仲間と共に過ごす最後の遠足を楽しむ/電車の乗り方や公共施設のマナーを知る					・節分・豆まき	節分の由来を知り、春を待つ気持ちや、無病息災を願うための行事であることを知らせる				
	・誕生日会	生まれてきたことに感謝し、成長を喜び合うとともに、命を大切に作る気持ちを育む					・こどもお別れ会	楽器演奏を披露する機会であり、やり遂げた後の達成感を味わうとともに、自分に自信を持つ 園でのいろいろな思い出に浸り、自分や友達の成長を喜び合う				
・身体計測	自分の成長を知り、喜びを友達と共有する(3歳以上児は隔月)					・卒園式	園にいる間の思い出を振り返り、保育教諭や年下の友達に別れを告げ、小学校へ入学する気持ちの切り替えをする 年長児の卒園を見送る					
・避難訓練	いろいろな災害を想定し、自分の身を守る方法を指導するとともに、防災の意識を持つ					・ひなまつり	日本の行事の伝承をはかり、意味や関連する風習、遊び、食事を知る					
毎月の行事	・誕生会	生まれてきたことに感謝し、成長を喜び合うとともに、命を大切に作る気持ちを育む					・遠足	戸外に出ることで、生命、自然、社会事象についての興味や関心を育て、それらに対する心豊かな思考力を養う				
	・身体計測	自分の成長を知り、喜びを友達と共有する(3歳以上児は隔月)						自分の脚で、いつもより遠くまで歩き、園とは違う環境で遊ぶ				
健康支援	・健康発育発達状況の定期的、継続的な把握(発達記録)				・嘱託医による内科健診・歯科健診(年2回)		安全対策 事故防止	・施設内外への設備、用具等の清掃、消毒、安全管理及び3ヶ月に7回の自主点検				
	・異常が認められたときの適切な対応(関連機関との連携)				・眼科看護師による眼科検診(年1回)							
環境・衛生管理	・園児及び職員の清潔保持(手洗いうがい、咳エチケットの励行)				・学校薬剤師による定期検査		保護者・地域 への支援	・育児相談、未就園児親子ふれあい体験・乳幼児の発達に関する講演のお誘い				
	・異常が認められたときの適切な対応(関連機関との連携)											